

# ウィンターリーグ特別ルール集

2010年10月13日  
追記2016年12月10日  
修正2016年12月16日

## 1. 基本適用ルール

1. 「横浜市青葉区少年野球連盟大会規定」(平成22年9月5日改訂)を基本ルールとする。
2. 下記に記載するウィンターリーグのルール、規定は、上記の大会規定に優先する。  
下記に記載されない物は、前述の「横浜市青葉区少年野球連盟大会規定」が優先する。

## 2. 選手ルール

### 1. チーム人数

- ① 各クラス共に、1チーム10名以上25名以下。
- ② 現行学年6年生の参加は認めない。
- ③ Aクラスは、現行5年生以下、Bクラスは現行4年生以下の編成とするが、4年生以下の選手の内指名4名のみA・Bに重複登録が可能。(2014年以降重複登録は不可となっています。)  
Cを出場させるチームは、重複登録は禁止とする。
- ④ Bクラスのみ、2チーム(C)の登録を認める。
- ⑤ 大会開始前に選手名簿を事務局に提出する。  
修正に関しては、A・Bのメンバー入替は認めない。退部・入部・修正の対応を認める。  
主将の背番号は10で無くとも良い。背番号は、予選リーグ1試合目までには、事務局に登録する。

## 3. 球場の大きさ

### 1. 塁間

- ① A・B共に塁間23メートル、投手本塁間16メートルとする。
- ② B、Cに関しては、当該試合の両監督の合意の下で、投手本塁間のみを14メートルにする事も出来る。合意出来ない場合は、16メートルとする。

## 4. 試合方法・ルール

### 1. 予選リーグ

- ① A・B各クラス4ブロックに別れ、総当たりのリーグ戦を行う。
- ② 試合日程、場所は、当該チーム同士で調整の上実施する。
- ③ 試合結果は、勝利チームが速やかに(週末の場合は、翌週の月曜日目処)事務局に下記項目と共に報告する。
  - ・対戦チーム
  - ・試合日時
  - ・試合場所と主催チーム(石灰代の対象)
  - ・試合結果(XX vs YY、及び勝ちチーム)
- ④ 各試合で引き分けの場合は下記の通りとし、必ず勝敗を決する。

# ウィンターリーグ特別ルール集

2010年10月13日  
追記2016年12月10日  
修正2016年12月16日

1. 「横浜市青葉区少年野球連盟大会規定」の3-(1)(2)(3)を行うが、3-(3)に関しては、90分以内時間の許す限り繰り返す。
2. 抽選は、当該チームの任意の方法で行う。
- ⑤ 各ブロックの1位のチームが決勝トーナメントに進出する。1位のチームは、勝ち数によって決定する。
- ⑥ 各ブロックの1位に同順チームがある場合
  1. 2チームが同順:直接対決の結果にて判定する
  2. 3チーム以上同順:トーナメントを行い、順位を決する。
    - (ア) 奇数チームの場合、くじ引きで1チームがシードとなる。
    - (イ) 試合は、5回60分で行うが、引き分けの場合「横浜市青葉区少年野球連盟大会規定」の3-(3)を時間に関係なく勝敗が決する迄行う。
  3. 抽選は、当該チームの任意の方法で行う。
- ⑦ 予選リーグは、2011年1月末までに終了することとする。
2. 決勝トーナメント
  - ① 決勝トーナメントは、各クラス共に準決勝・決勝を行う。3位決定戦は行わない(2チームが3位となる)
3. 審判
  - ① 基本的に、両チームより主審・塁審を出して運営する。
  - ② 3人制を基本とするが、両チームの合意で4人制も可能とする。
  - ③ 審判は、試合開始30分前にグラウンドに行き、グラウンド整備を行う。
  - ④ 決勝トーナメントに関しては、主審は事務局にて用意するが、準決勝の副審は、当該試合以外の他の2チームが担当する。
5. ベンチ入り選手数

基本的にはルール準拠だが、昨今の少年野球を取り巻く環境、またプライベート大会で有る事を考慮して次のように取り扱う。

  1. 試合開始前に対戦相手の監督に9名である説明と合意をとる。  
(8名以下では試合開始開始出来ない。9名で説明・合意無しで開始した場合は、発覚した時点で敗戦・試合終了とする。)
  2. 9名の状態で試合開始し、試合中に怪我等で退場となり8名となった時点で勝っていても敗戦とし試合終了とする。
  3. 怪我等を押しして試合を続行しないで下さい。無理をして続行した場合、相手監督の指摘で敗戦とする。
6. 表彰
  1. 決勝戦終了後、下記の表彰を行う。
    - ① 優勝・準優勝・3位
  2. 同じく、各チーム各クラスに、優秀賞・敢闘賞を設けて表彰する。